



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※  内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

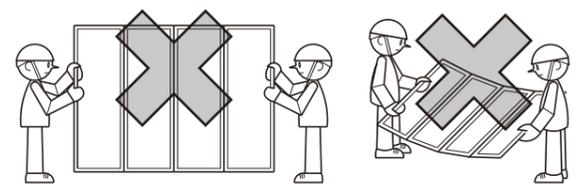
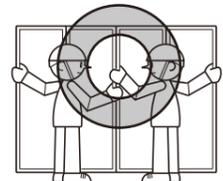
▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 出窓の前倒れなどにより障子が脱落する原因になりますので、下記事項をお守りください。
 - ・柱・窓台・間柱は室外側を面一にしてください。
 - ・必ず45×100mm以上の窓台・まぐさ・45mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。
 - ・窓台と間柱は、窓台固定ねじで補強してください。
 - ・下枠補強材と開口部との間にすき間のないよう固定してください。
 - ・補強ブラケットは所定の方法で調整してください。
 - ・屋根は必ず奥まで差込んでください。
- 本製品は複層ガラス使用の場合、組立て後の製品重量は最大95kg（屋根を含めると110kg）になります。施工は対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・躯体と出窓の取合わせ部には防水テープ（別売り）を張ってください。
 - ・外壁施工後、躯体と出窓の取合わせ部には必ずシーリングをしてください。
 - ・屋根用シール材は絶対にはがさないでください。
 - ・屋根は必ず奥まで差込んでから固定してください。固定位置に躯体がない場合は、先に躯体を造作してください。
 - ・外壁は52mm以下に仕上げてください。
 - ・出窓下部に造り付け収納部を作らないでください。
 - ・縦枠フィンと屋根背板・下枠補強材フィンの境目に防水シールを張ってください。

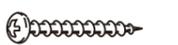
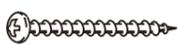
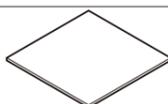
■取付け上のおお願い

- 屋根にはしごをかけたり、のったりしないでください。傷・変形の原因になります。
- 組立て後の運搬は、必ず出窓を立てた状態で行い、枠の接合部に無理な力をかけないでください。変形するおそれがあります。
- テーブル板に衝撃を与えないでください。割れ・欠けなどの原因になります。
- テーブル板保護のため、テーブル板梱包用ダンボールで養生してください。
- 断熱材はぬれると製品に悪影響を及ぼすおそれがあります。取付け後養生しておくか、テーブル板取付け時まで保管しておいてください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。



■取付け部品一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を示します。間違いのないよう使用してください。

記号	㊦	㊧	㊨	㊩	㊰
名称	皿木ねじφ3.5×32	ナベタッピンねじφ4×30	ナベタッピンねじφ4×55	スクリュー釘φ2.4×38	縦枠下部防水シール
姿図					
使用箇所	縦枠（室外側）- 躯体	水切り- 躯体 補強ブラケット- 躯体	補強ブラケット- 躯体	屋根- 躯体	縦枠下部フィン- 下枠補強材フィン
袋表示	取付用①				
記号	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵
名称	防水補助シール	万能ビス(ラッパ)φ4.8×90	六角レンチ	皿木ねじφ3.1×20	皿木ねじφ3.1×20
姿図					
使用箇所	屋根- 縦枠フィン	窓台- 間柱	補強ブラケット	上枠- 屋根 天板見切り縁- 屋根	縦枠（室内側）- 額縁 天板見切り縁- 額縁 下枠- テーブル板
袋表示	-	取付用1		取付用2	取付用3

■取付け順序

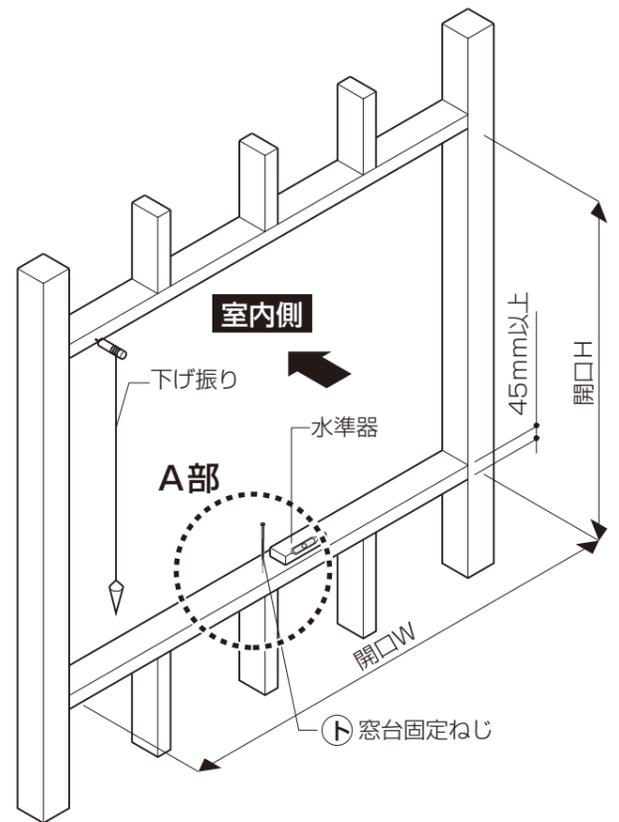
1 開口部の確認・窓台固定ねじの取付け

■取付け詳細

※図中の記号は、取付け部品一覧表の記号を示します。間違いのないよう使用してください。

1 開口部の確認・窓台固定ねじの取付け

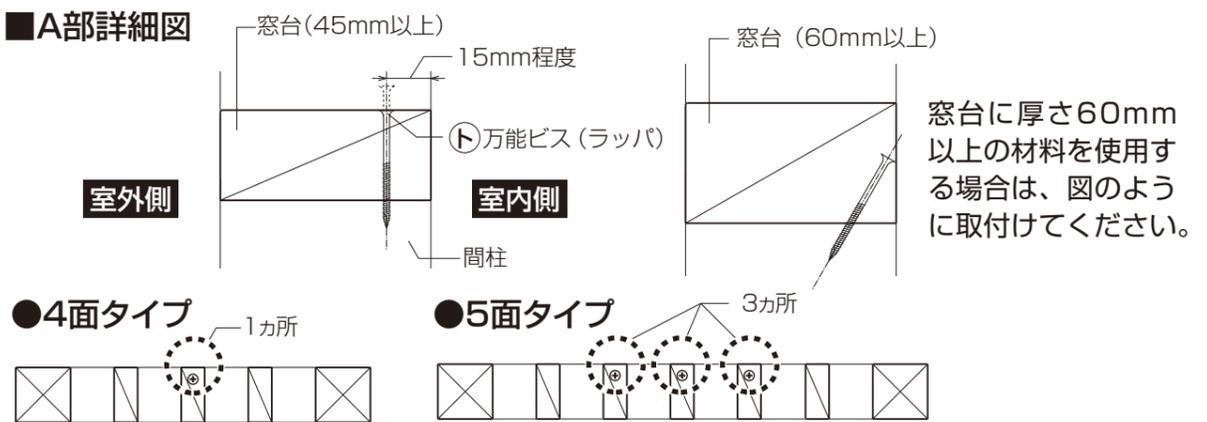
- ①水平・垂直を確認し、開口部を作成します。
 - ②右図の指定箇所に、窓台固定ねじを取付けます。
その際、ねじ頭が窓台よりも飛び出さないように固定してください。
テーブル板が入らなくなるおそれがあります。
- ※窓台固定ねじの取付けがきつい場合は、窓台にφ5程度の下穴をあけてからねじを取付けてください。



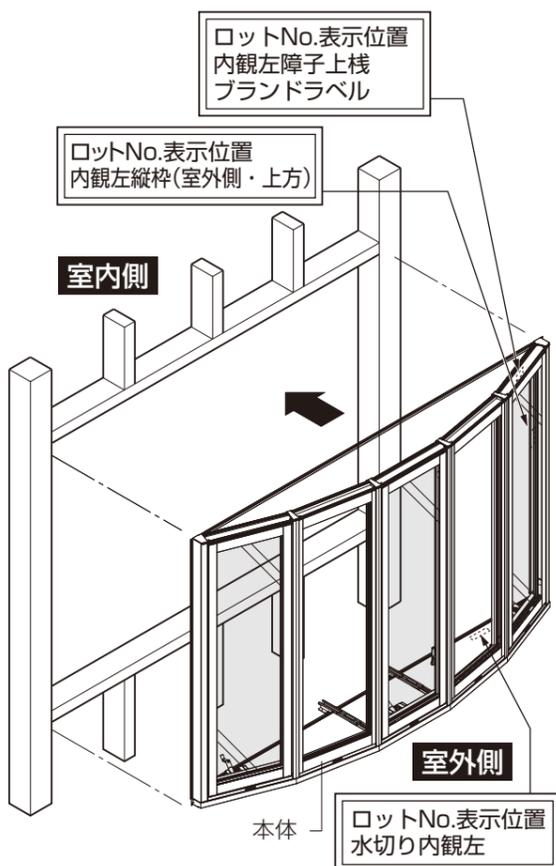
▲注意

- 必ず45×100mm以上の窓台・まぐさ・45mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。
- 柱・窓台・間柱は室外側を面一にしてください。
- 窓台と間柱は、窓台固定ねじで補強してください。

■A部詳細図



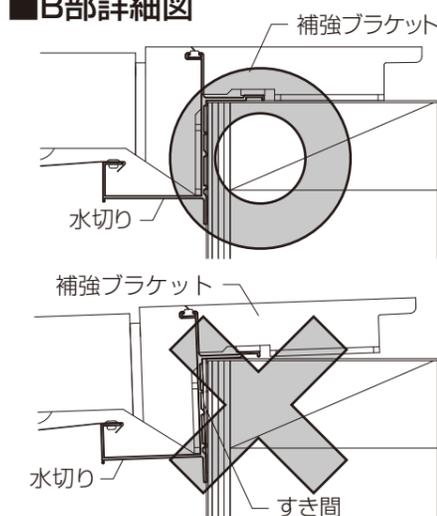
2 本体の取付け



2 3 本体・屋根の取付け

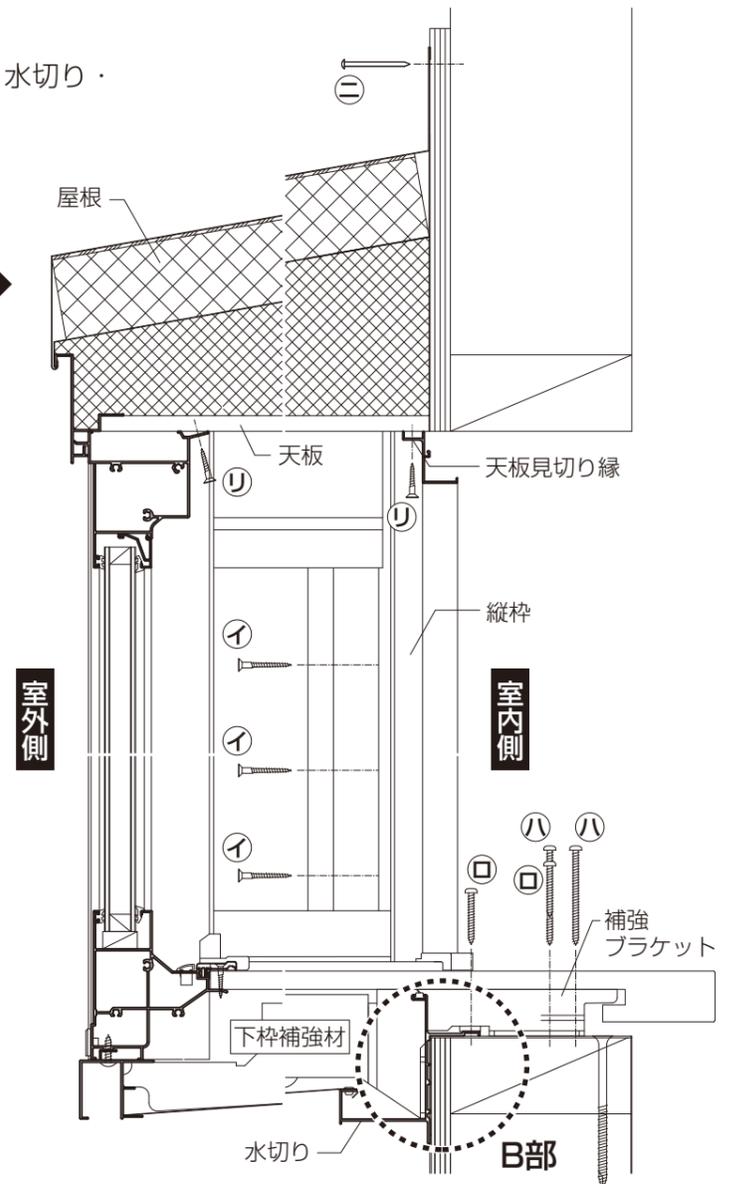
- ①本体を開口部に差込み、縦枠（室外側）・水切り・補強ブラケットの順で躯体に固定します。

■B部詳細図

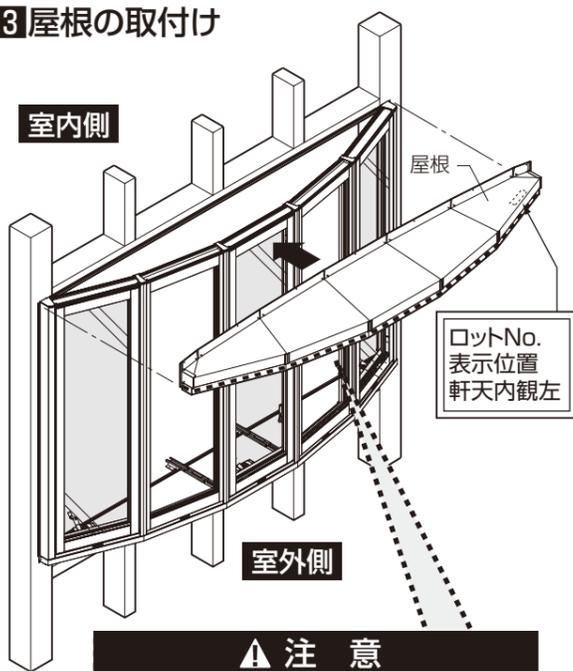


▲注意

- 下枠補強材と開口部との間にすき間のないよう固定してください。



3 屋根の取付け



▲ 注意

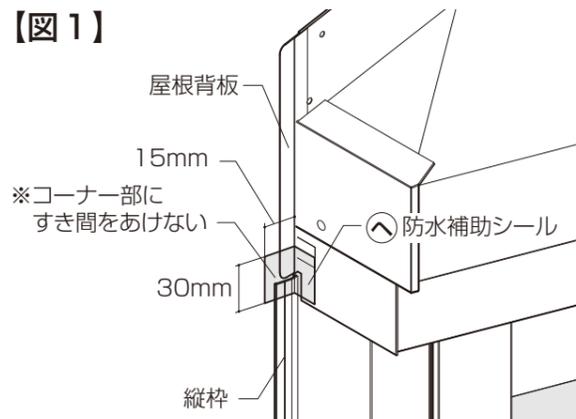
- 屋根用シール材は絶対にはがさないでください。

- ② 屋根を本体に差込み、躯体に固定します。
 - ③ 上枠と屋根を固定します。
 - ④ 天板見切り縁と屋根を固定します。
 - ⑤ 縦枠フィンと屋根背板の境目に㊦防水補助シールを張ります。【図1】
 - ⑥ 本体を躯体に取付けた後、㊧縦枠下部防水シールを張ります。【図2】
- ※ コーナー部にすき間ができないように十分押付けて張ってください。

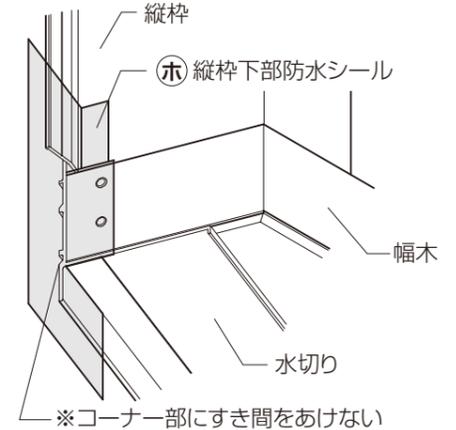
▲ 注意

- 屋根は必ず奥まで差込んでから固定してください。固定位置に躯体がない場合は、先に躯体を造作してください。

【図1】



【図2】



▲ 注意

- 縦枠フィンと屋根背板・下枠補強材フィンの境目に防水シールを張ってください。

- ⑦ 補強ブラケットの調整ねじを調整します。
- ① 部品セットに同梱している㊨六角レンチを使用して、補強ブラケットの側面にある調整目盛りを“0”のところまで調整します。
※ 5面タイプの場合は左右1目盛りずつ均等に調整してください。
- ② 補強ブラケット上面に長さ30cm程度の水準器を図のようにあてて、水平度合を確認します。
- ③ ②確認時、前倒れ傾向の場合、さらに調整ねじを締め、微調整します。その際、②と同様の確認を行います。また、合わせて障子のロックのかけ具合を確認してください。水平をこえて上げる調整をするとロックがかけにくくなるおそれがあります。

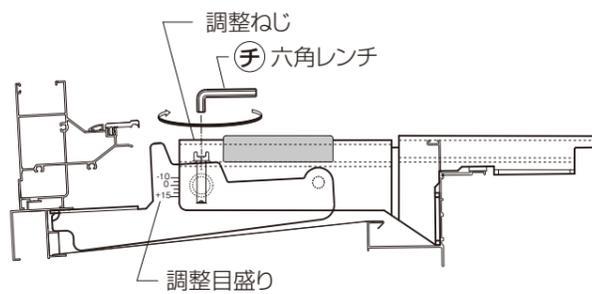
▲ 注意

- 補強ブラケットは所定の方法で調整してください。

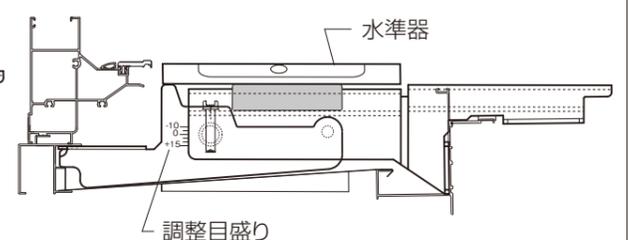
■ 調整方法

● 4面タイプ

【調整前】

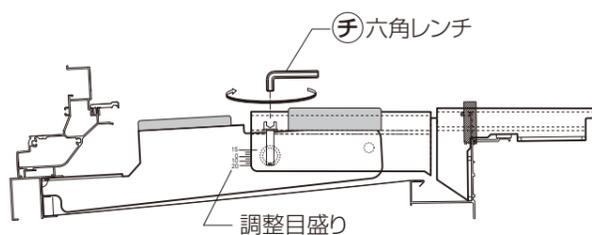


【調整後】

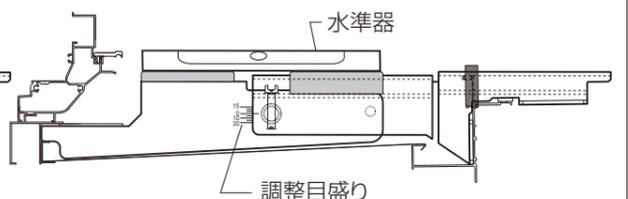


● 5面タイプ

【調整前】



【調整後】



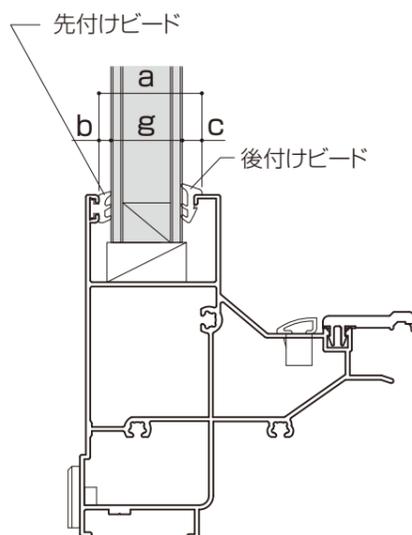
4 FIXガラスの建込み

4 FIXガラスの建込み

■FIX部ガラスビードの使用区分

※後付けビードの押し込みがきつい場合は、後付けビードを100mm程度に切断して上押縁・縦押縁・下枠の4方に入れ、押縁とガラスのクリアランスを確保してから押し込んでください。

●PG (複層ガラス) a=24



ガラス厚(g) (mm)	ガラス構成例	先付けビード(b)	後付けビード(c) (別売り)
12	3-6-3	3	9
13	3-6-4	3	8
14	3-6-5 4-6-4	3	7
15	4-6-5	3	6
16	3-6-6.8 5-6-5	3	5
17	4-6-6.8 5-6-6	3	4
18	5-6-6.8 3-12-3	3	3

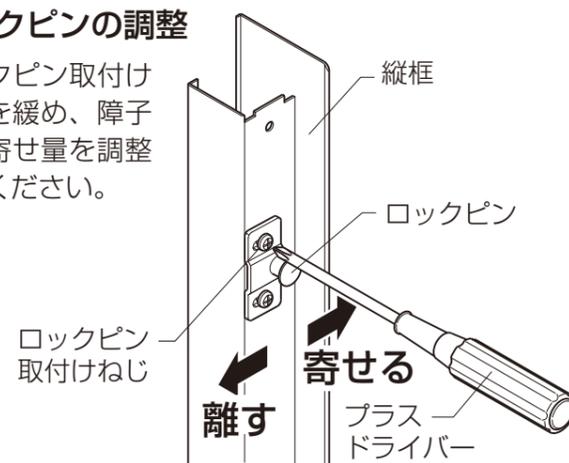
5 障子の開閉確認

5 障子の開閉確認

- ①オペレーターハンドルを回して障子がスムーズに開閉するかどうか確認します。
 - ②連動バーが障子縦框のロックピンに引っ掛かるかどうか確認します。
- ※引っ掛からない場合は、右記の要領で調整してください。ロックピンだけで調整できない場合、補強ブラケットが水平をこえて上げられている可能性があります。補強ブラケットを再度調整してください。

■ロックピンの調整

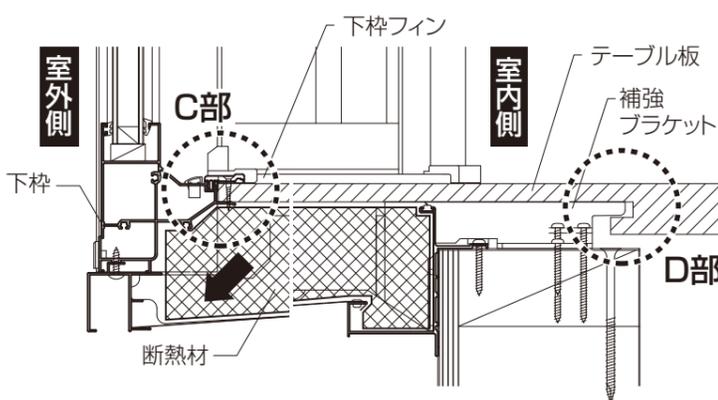
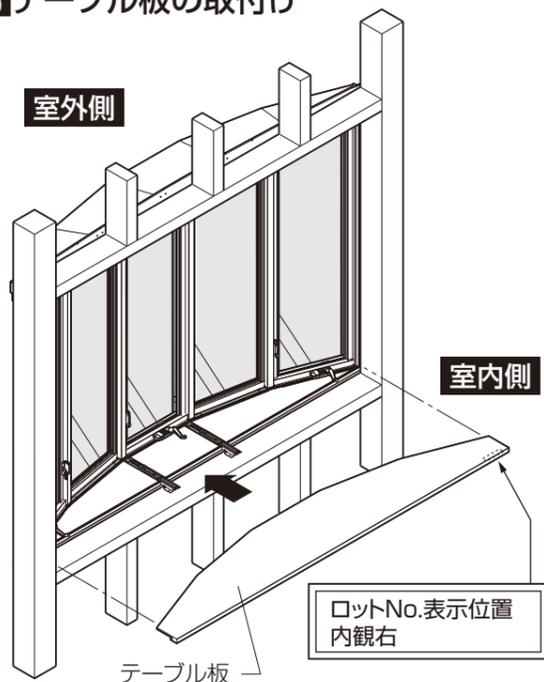
- ロックピン取付けねじを緩め、障子の引寄せ量を調整してください。



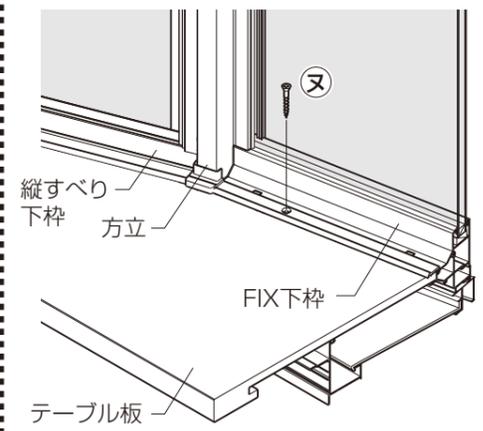
6 テーブル板の取付け

6 テーブル板の取付け

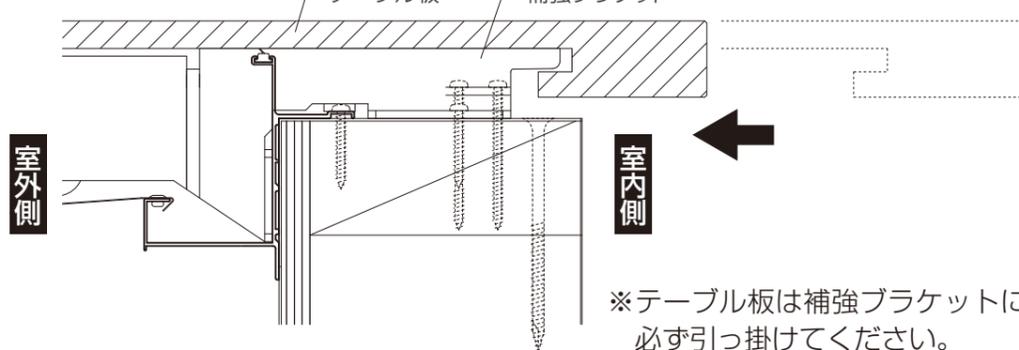
- ①テーブル板を差込む前に断熱材を下枠の奥まで押し込んでください。
断熱材がテーブル板にはさまれるおそれがあります。
- ②下枠フィン・補強ブラケットに、テーブル板の両端を上から押し、差込んでねじ止めします。



■C部詳細図



■D部詳細図



※テーブル板は補強ブラケットに必ず引っ掛けてください。

7 造作材(仕上げ材)と縦枠・天板見切り縁の固定